公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARCウィル藤井寺		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年4月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年4月21日		～ 2025年4月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常時2名配置している。	人工呼吸器を装着している子や医療的ケアのあるお子さまの受け入れ可能。	事業所内外の研修会に積極的に参加することで質の向上を図る。
2	リハビリ職を常時配置している。	利用日には毎回リハビリを受けてもらえるように工夫してスケジュールを組んでいる。	療育の中にリハビリの要素を取り入れるなど限られた時間の中で効率よく支援できる工夫を続ける。
3	入浴支援を積極的に行っている。	人工呼吸器を装着しているお子さまでも安全に入浴できるよう手段や方法の検討を重ねている。	引き続き、そのお子さまにとってよりよい方法の検討をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設して間もない事業所であるため職員の経験が少ない。	元々、訪問看護の職員であったスタッフで開設しているため療育の経験が少ない。	・併設している訪問看護ステーションを密な連携をしながらお子さまの支援に当たっている。 ・経験のある保育士を雇用している。
2	地域との交流が少ない。	地域と交流する機会をうまく持てていない。	事業所でイベントを企画するなどして地域に認識してもらう必要がある。
3	保護者同士の交流の機会がない。	開設して間もないこともあり、保護者同士の交流の機会が持てなかった。	保護者同士が交流できる機会を作っていく必要がある。